

道路・公共交通機関の整備

容量の拡大

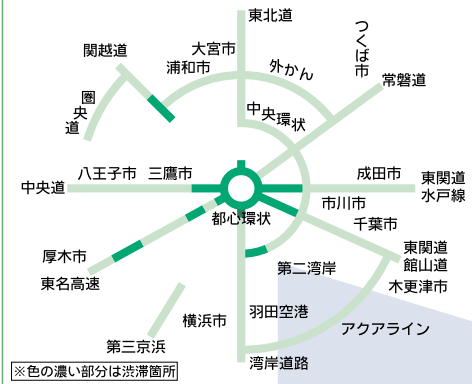
快適な交通環境を生み出して行くには、「需要の調整」だけではなく、道路・公共交通機関の整備による「容量の拡大」と効果的に組み合わせることが重要です。都市の骨格を形成する幹線道路ネットワークを整備していきます。また、幹線交通としての鉄道・地下鉄・新交通システム等と地域交通としてのバスなどを体系的に整備するとともに、他の交通機関からの乗り換えなどの際の利便性の向上施策を総合的に推進していきます。

道路の整備等

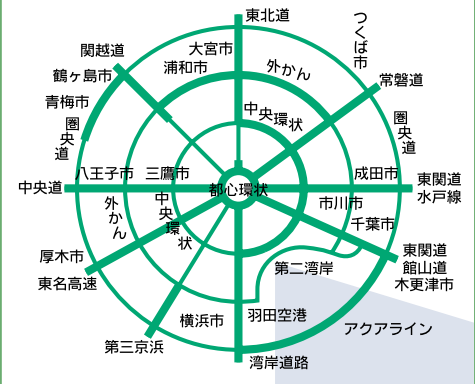


●首都圏の広域幹線道路網イメージ図

環状道路の未完成が首都圏の慢性的渋滞の大きな原因に



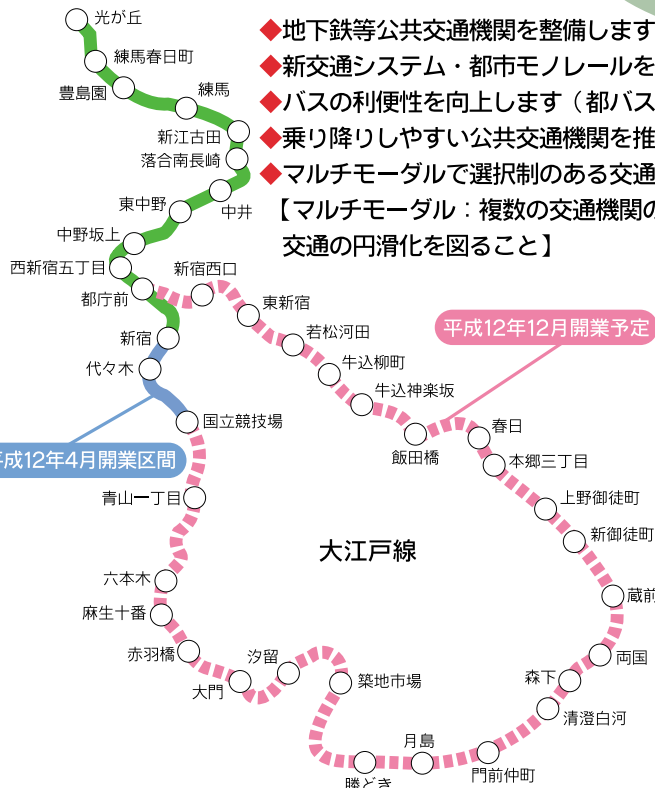
バランスのとれた「3環状9放射」のコンセプト



出典：東京のみちづくり

- ◆環状・南北方向道路の整備を行います（3環状道路整備促進など）
- ◆連続立体交差事業を推進します（JR中央線三鷹～立川など）
- ◆橋梁を整備します（多摩川中流部橋梁整備）
- ◆交差点を改良します（交差点すいすいプラン100の推進）
- ◆リバーシブルレーンの整備を推進します
【リバーシブルレーン：交通量の多い時間帯等により、進行方向が変化する車線】

公共交通機関の整備・利便性の向上



- ◆地下鉄等公共交通機関を整備します
- ◆新交通システム・都市モノレールを整備します
- ◆バスの利便性を向上します（都バスネットワーク再構築など）
- ◆乗り降りしやすい公共交通機関を推進します
- ◆マルチモーダルで選択制のある交通をつくります

【マルチモーダル：複数の交通機関の連携による交通施策を推進し利便性の向上や交通の円滑化を図ること】

平成12年4月開業区間

平成12年12月開業予定



多摩都市モノレール